

やまがた地球家族

YAMAGATA GLOBAL FAMILY



Wikimedia Commons : レッドジンジャー

『協力隊を支援する やまがた地球家族の会』機関誌 VOL.15

青年海外協力隊創設 50 周年記念事業 上映会&ボランティア体験談

青年海外協力隊 50 周年記念事業
上映会&ボランティア体験談

第1部
「クロスロード」
上映
13:20~
15:20

第2部
青年海外協力隊
経験者による
体験談
15:30~
16:30

会場：出羽庄内国際村
(住所：秋田県山形県 庄内区 出羽 1-1-1)
2016年12月17日(土)
開場 13:00

チケット：一般 500円
学生 300円

※チケットのお支払は下記問合せ先です！
※当日券もあります。

興味のある方はどなたでも！

【主催】協力隊を支援するやまがた地球家族の会
【協賛】JICA 山形県青年海外協力隊協議会(YOJA)
【後援】山形県庁、山形県教育委員会、山形県青年海外協力隊協議会(YOJA)
【お問い合わせ】「ヤマガタ」のページ、協会のホームページ、または地球家族の会(社) 担当
TEL: 090-2743-9999 Email: info@yomaglobalfamily.jp

12月17日(土)出羽庄内国際村において、青年海外協力隊創設50周年を記念して制作された映画『クロスロード』の上映会を開催し、中高生を含む約30名のご参加でした(NPO法人山形県青年海外協力協会との共催)。「ボランティアは偽善か」という重いテーマを、3人の若き協力隊員の姿を通して描き出しています。任地での美しい風景も心に残りました。

上映後は、ブルキナファソで稲作指導した佐藤麻都香さんとタイで日本語教育にあたった阿部響子さんという二人の協力隊経験者をお迎えしてのパネルトーク(モデレーターは田中・当会事務局員)。会場からの質問も多く、盛り上がりました！展示も熱心にご覧いただき、JICA ボランティアへの理解が深まりました。



この日ご登壇いただいた佐藤麻都香さんに、JICA ボランティアの意義や、帰国後の自分にどんな影響を与えているか、改めて伺いました。

協力隊に参加した目的は？

始めは「誰かのためになるのなら」という気持ちでしたが、振り返れば、何を残せたのか、何ができたのか自問自答。結果的には「自分の成長のため」だったなあと。

でも、現地の人に心から「ありがとう」と言われた時には、誰かに感謝されて働くのはみんなが幸せな気持ちになるのだと実感しました。

帰国後の生き方への影響は？

ボランティア経験は今の私の、仕事を選ぶ基準を作ってくれています。「困っている人がいるのなら一緒に何とかしたい」という気持ちを大切に、より困ってそう、面白そう、先につながりそうなもの、という基準で仕事を引き受けるようになりました。

柿畑を借り受けたのも面白そうで、困っていそうだったから、舟をこぐのも、誰もやらないし、もったいないし、困っている人が居たからです。ヤギは単純に好きだから飼いはじめましたが、徐々に仕事にもつながり始めました！やっていて楽しくないと自分も続かないので、楽しくなるような、みんなが幸せになるような、そんなことを心がけています。



JICA ボランティア家族連絡会

平成 29 年 3 月 12 日（日）山形県国際交流センター（山形市）にて「JICA ボランティア家族連絡会」が開催されました。派遣中の JICA ボランティアのご家族の情報共有・交流の場として、毎年「JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト表彰式」と同日開催しているものです。



今回は本県から派遣中の 8 名のボランティアのご家族 12 名がご参加でした。JICA 職員から JICA 事業の概要やボランティアへの支援体制、帰国後の進路について説明を受けた後、15 名の JICA ボランティア経験者も加わってグループでの懇談。子どもを異国の地に送り出す不安など、留守家族同士ならではの共感が生まれていました。

今回の参加者のご家族の派遣状況は別表の通りです。アジア・アフリカ・南米と、まさに世界中で活動中。職種も医療・教育・農業からエアロビクス、障害児支援まで非常に多彩です。平成 29 年 2 月末時点で本県から派遣されている JICA ボランティアは 21 ヶ国 27 名（うち女性が 18 名）。

青年海外協力隊発足から 50 年間の歴史を振り返れば、479 名もの青年たちが本県から派遣され、70 以上の国々で得た貴重な経験を帰国後の人生に生かしてきました。



●家族連絡会に出席された JICA ボランティアご家族

職 種	派 遣 国	隊 次
小 学 校 教 育	パ ラ グ アイ	平 成 26 年 度 4 次 隊
助 産 師	イ ン ド ネ シ ア	平 成 27 年 度 1 次 隊
看 護 師	マ グ ガ ス カ ル	平 成 27 年 度 2 次 隊
野 菜 栽 培	ネ パ ー ル	平 成 27 年 度 4 次 隊
エ ア ロ ビ ク ス	ボ リ ビ ア	平 成 28 年 度 2 次 隊
青 少 年 活 動	ニ カ ラ グ ア	平 成 28 年 度 2 次 隊
理 科 教 育	エ チ オ ピ ア	平 成 28 年 度 3 次 隊
障 害 児 ・ 者 支 援	キ ル ギ ス	平 成 28 年 度 3 次 隊

《平成 28 年度 協力隊を支援するやまがた地球家族の会 事業報告》

期 日	事 業	会 場／参加者
H28 年 6 月 4 日	定例総会／事業報告、決算報告、事業計画、予算の承認 カンボジア、マーシャルの協力隊員帰国報告	於：出羽庄内国際村／22名
6 月 24 日	28 年度 1 次隊 表敬訪問並びに壮行（ウズベキスタンの協力隊員）	於：県庁／4名
9 月 21 日	28 年度 2 次隊 表敬訪問並びに壮行（ボリビア、ニカラグアの協力隊員） モロッコ、エクアドル、マーシャルの協力隊員の帰国表敬	於：県庁／8名
11 月 1 日	中小企業海外展開支援に関する情報交換会 JICA、育てる会の報告、企業等 15 団体との意見交換会	於：出羽庄内国際村／35名
12 月 17 日	映画クロスロード上映会&ボランティア体験談 ブルキナファソ、タイの協力隊員とのパネルトーク	於：出羽庄内国際村／30名
12 月 20 日	28 年度 3 次隊 表敬訪問並びに壮行 （キルギス、エチオピア、ホンジュラスの協力隊員） タイの協力隊員帰国表敬	於：県庁／5名
H29 年 3 月 12 日	ボランティア家族連絡会及び帰国報告会 国際協力エッセイコンテスト受賞者表彰式及び朗読発表 サモア、マーシャルの協力隊員による帰国パネルトーク	於：国際交流センター／32名

※ 6 月 4 日 — 機関紙発行 ※ 育てる会のカレンダー作成並びに会員への送付

JICA 中小企業海外展開支援に関する情報交換会

- ◆日時=平成28年11月1日
- ◆会場=出羽庄内国際村（山形県鶴岡市）
- ◆主催=協力隊を支援するやまがた地球家族の会、協力隊を育てる会、JICA

◆参加企業・団体

(有) ワーコム農業研究所、安藤組グループ、
(株) 山形県自動車販売店リサイクルセンター、
ブレンスタッフ(株)、(株) WAKAZE、
(株) 荘内銀行、鶴岡信用金庫、
山形県工業技術センター、鶴岡商工会議所、
庄内町国際交流協会、狩川佐藤組(株)、
出羽庄内国際村、羽黒高校、
(財) 山形県国際交流協会、山形新聞社



11月1日(火)、出羽庄内国際村において「JICA 中小企業海外展開支援に関する情報交換会」が開催されました。現在の形になってから4回目、「企業懇談会」としての開催を含めると10回目の節目となりました。建設業や金融、日本酒を輸出しているベンチャーなど多彩な15の企業・団体から20名のご参加を得ました。

その他、主催側としてJICA 東北から村瀬支部長、佐藤カウンセラー、上野専門囑託、三澤山形デスク、協力隊を育てる会から奥永常任理事、伊藤事業部長、澤田理事、やまがた地球家族の会から酒井会長始め8名が参加し、合計36名での情報交換会となりました。

JICA 東北の村瀬支部長からは「2012年以降、400件を超える企業がJICAの海外展開支援スキームを活用している。東北でも20件を超えており、「海外展開支援は通産省やJETRO」という固定観念はもう古い。JICAの強みは、途上国を中心に世界100ヶ所の拠点があり、『人』による協力体制があること

と、途上国からの研修生受け入れなどを通して日本のファンづくりができることにある」との説明がありました。

JICA 中小企業海外展開支援事業の事例として、有限会社ワーコム農業研究所の栗田幸太郎会長からモンゴルでの取り組みの途中経過が発表されました。栗田さんは「化学肥料を使わなくても安心安全な農業をしたい!」との理想の下、プロの農業者を育成する雇用型農業実践塾「拓土塾」を主宰しておられます。モンゴルでは中国・韓国方式での農業拡大を図ってきたが失敗が続き、日本流の有機農業へ舵を切ることになったとのこと。JICAやJETROの指導・協力により調査を進めておられます。「有機農業の推進は世界の趨勢。モンゴルで有機農業を成功させ、農畜連携を日本に逆輸入したい!」「大規模農業ばかり進める国の施策に疑問。地域あればこそその農業!」と熱く語っていただきました。



ブログ【ワーコム日記】2016/1/26 記事より

続いてJICA 佐藤・進路相談カウンセラーから、人材の確保・育成に関する情報提供がありました。「進出したい国でのリーダーをあらかじめ育てておきたい」というニーズには、希望の国に派遣可能な《民間連携ボランティア制度》を活用できる、とのこと。

その後、斎藤・当会副会長の司会で意見交換が行われました。「新入社員研修として、短期間の海外修行ができる場が欲しい」「今のベトナムには戦後日本のような勢いを感じる。日本で3年修行したベトナム人に、現地で経営を任せたい」「日本のより良い未来を築くために、JICAやJETROの力も借りて、世界とつながっていきたい。食や生命の分野で日本が世界に貢献できるはず」など様々な意見が交わされました。

今後も、山形県から海外展開に挑戦する中小企業の助けとなる情報交換の場を設けていく予定です。奮ってご参加ください! (了)

■ JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2016 入賞おめでとう!

山形県では6名が個人賞に、6校が学校賞に入賞。



平成 29 年 3 月 12 日 (日) JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2016 の表彰式が山形県国際交流センター (山形市) で開催されました。

今回のテーマは、「世界を知ろう! 考えよう! ~よりよい世界のために私たちができること」。山形県からは中学生の部 531 作品、高校生の部 537 作品のエッセイの応募があり、当日は個人賞受賞者 6 名、学校賞受賞校 6 校への表彰と受賞者による作品の朗読を行いました。(ノ)

エッセイ
コンテスト
表彰

★国際協力特別賞

【平和への一步】

渡會 奏さん/県立鶴岡北高等学校 1 年

★独立行政法人国際協力機構 東北支部長賞

【未来を選択する】

沖野若菜さん/川西町立川西中学校 2 年

【平和の芽】

伊藤菜々子さん/川西町立川西中学校 3 年

★佳作

【今こそ行動を!】

黒田愛奈さん/米沢市立第四中学校 3 年

【未来の地球のため】

中島文汰さん/県立村山産業高等学校 2 年

★NPO 法人山形県青年海外協力協会会長賞

【世界の教育に目を向けてて】

横川実咲さん/県立東桜学館高等学校 1 年

★特別学校賞 県立鶴岡北高等学校

★学校賞 県立東桜学館高等学校

県立酒田東高等学校、飯豊町立飯豊中学校
東根市立第一中学校、川西町立川西中学校

(ノ) 続いて、2017 年 1 月に帰国したばかりの 2 名が活動報告。高橋航太郎さん (米沢市出身) はサモアで PC 教育に、渋谷洋之さん (西川町出身) はマーシャルで小学校教育に従事。学校での活動エピソードや現地での生活の様子を聞いた聴衆から「日本とは文化や気質が大きく違う国で授業をするのはとても苦勞したと思う。報告を聞いていて刺激的で楽しかった。」「いつかは自分も自分らしい形で国際協力に携わりたい。」などの声が上がりました。(了)



『世界が舞台』好評発売中!!

毎週土曜の山形新聞に掲載されている「世界が舞台～活躍する県人～」欄は、2007 年 3 月から続く長寿連載で、山形県出身あるいは山形県にゆかりのある JICA ボランティアが現地から寄せたレポートです。2017 年 5 月までに 386 回、JICA ボランティアからの寄稿が掲載されています。

2015 年、青年海外協力隊が発足して 50 周年になったことを記念して、75 名の寄稿記事をまとめた書籍が山形新聞社より発行されました。42 ケ国からの現地レポートには、それぞれの任地での活動内容や現地の人々との心のふれあい、葛藤などが生き生きと描かれています。県内の主要書店でお求めください。

『世界が舞台～活躍する山形県人』
(発行: 山形新聞社) A5 判/
183 ページ/価格 1,500 円 (税込)



『協力隊を支援する やまがた地球家族の会』入会のご案内

【会費】 ●個人会員 = 3000 円 ●家族会員 = 1000 円 (個人会員の家族)
●学生会員 = 1000 円 ●団体会員 = 10000 円 (企業及び団体)

【会員特典】 JICA ボランティアの姿を通して、世界が見える!

「国際ボランティアマガジン 月刊《クロスロード》」を、年間購読料 5000 円のところ、希望する会員には 2000 円の送付手数料のみで 1 年間 12 冊ご提供いたします。

☆お問い合わせ/ご入会のお申し込みは、当会事務局まで。

やまがた地球家族 VOL.15 平成 29 年 5 月 27 日発行 (第 15 号) 発行人/酒井忠久

発行/〒 999-7725 山形県庄内町沢新田 151 富樫方 『協力隊を支援する やまがた地球家族の会』事務局

TEL&FAX) 0234-42-1458 (富樫) E-mail) info@chikyukazoku.net Website) http://www.chikyukazoku.net/